

## 戦 評

大会名	2018年度 男子第67回兵庫県学生バスケットボール選手権大会兼、 第46回木戸杯 兵庫県学生優勝大会（男子）			
開催日	2018年5月27日	会場	流通科学大学Aコート	
主審	内田祥平	副審	山本祐輔/小倉悠馬	
記録者	岸本理紗子、奥田才也			
勝ちチーム	スコア		負けチーム	
関西学院大学 A	85	19-20	73	甲南大学 A
		22-22		
		22-14		
		22-17		

## 戦 評

### 【総括】

試合序盤は両者一進一退の攻撃が続き互角の戦いを繰り広げたが、後半は安定した攻撃に甲南大が食らい付いていけず、そのまま点差を離され76-85で関西学院大学が勝利した。

### 【第1ピリオド】

開始早々甲南の速攻が決まり試合スタート。14番を中心とした粘り強いディフェンスからの速攻で甲南大は点数を重ねていく。しかし1ピリ後半、関学大の74、50、7番の3Pシュートで逆転、甲南大も24番のシュートで食らいつく。終盤、甲南大の速攻で再度逆転し19-20で1ピリオド終了。

### 【第2ピリオド】

甲南大13番のバスケットカウントでスタート。中盤、関学大は力強いドリブルからの合わせやミドルシュートなどで得点を積み重ねるが、甲南大もセットプレーやリバウンドからの得点で食らい付く。2ピリオド後半は両者ファウルが積み重なり、苦しい試合展開となる。ピリオド終了間際に甲南大13番がゴール下でファウルをもらいフリースローを決め、41-42甲南大リードで後半へ折り返す。

### 【第3ピリオド】

3ピリオドは関学大11番のミドルシュートでスタート。その得点を皮切りに関学大の速攻や3Pシュートなどの連続ポイントで点差が11点に広がり、甲南がたまたらタイムアウト。タイムアウト後、関学大はゾーンディフェンスに切り替え、点差を広げようとするが、甲南大は13番、32番のゴール下のプレーや24番のドライブなどで点差を4点差に縮めて59-63、関学大リードで3ピリ終了。

### 【第4ピリオド】

関学大73番の速攻でスタート。4ピリ7分、甲南大が関学大に追いつき同点となるが関学大の50番のバスケットカウントで突き放される。甲南は24番、2番のドライブ、73番の3Pシュートなどで追いつこうとするが関学大の高さに苦戦し点差は思うように縮まらず、73-85で関学大の勝利で試合終了。